

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 6 年 2 月 29 日

事業所名 こころキララ

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○		動きのある活動とそうでない活動の場所を分けることでメリハリをつけています	更にメリハリがつくように室内を整えていきます
	2 職員の配置数は適切である	○		適切な配置になるように常に調整をしています	職員の不足がないように引き続き配置をしていきます
	3 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	○	○	建物の構造上バリアフリーは難しいです	個別での対応を引き続き行っています
業務改善	4 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	○		職員周知にはまだ至っていない状況があります	業務改善のPDCAサイクルを周知できるように伝えていきます
	5 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○		保護者様とは常に話すことができるような環境を作っています	保護者様からの要望や要請を引き続き職員で情報共有を行ってまいります
	6 この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	○		ホームページにて公表しています	ホームページにて常に閲覧できるようにするとともに、評価に関しては職員間で意識できるようにしていきます
	7 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		○	外部評価はまだ受けていません	西宮市の評価を参考に自己評価をおこなってまいります
8 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	△		内部研修にて、虐待防止研修、対処方法等の研修を実施しています	更に社員研修に努めてまいります	
適切な支援の提供	9 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	○		解約時や面談時において聞き取りを行い、支援計画書に反映しています	作成時の工夫や文面の見やすさをつねに考慮しながら作成しています
	10 子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	○		日々の記録記入用紙を作成し、毎日の状況をみえるようにしています	記録ツールを作成し、職員全体でお子様の状況を把握できるように心がけています
	11 活動プログラムの立案をチームで行っている	○		支援開始前には職員でその日の流れを打合せして支援を行っています	日々の反省と状況などの申し送りをお子様のお送り後に行っています
	12 活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○		季節感を伝えられるような工作や行事を実施しています	今までの活動内容を記録に残し、改善や改良を加えながらプログラムを提供してまいります
	13 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	○		お子様の状況や体調などを考慮しながら支援をしていますサービス提供時間に合わせてスケジュールを組んでいます	サービスが滞りなく行えるように、前もって準備などを行ってまいります
	14 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	○		個別の課題と全体での課題を明確しそれらを組み合わせ計画を作成しています	これまで通り対応してまいります
	15 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○		常にスタッフ間にて情報の共有を行っています	これまで通り対応してまいります
	16 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	△		送迎時間終了が定時ではないので、支援後の申し送りはできていません	送迎前には必ず申し送りを行い、その日の情報は記録に取る事や次の日には職員間にて情報を共有できるように努めてまいります
	17 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○		送迎後に記録を取るようになっています	記録方法や書式に関しては職員からの提案を採用し、より取り組みやすいように改善できるようにしていきます
18 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	○		お子様の状況に応じて見直しを行っています	これまで通り対応してまいります	
19 ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っている	○		自立支援、余暇活動、制作などを組み合わせ合わせて支援を行っています	これまで通り対応してまいります	

保護者等からの放課後等デイサービス事業所評価の集計結果(公表)

公表:令和 6 年 2 月 29 日

事業所名 ここいろキララ 保護者等数(児童数) 回収数 18 割合 100 %

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
環境・ 体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	18				活動の部屋が分かれていて、落ち着けるように感じた	落ち着いて取り組めるように、動きのある活動と落ち着ける活動を意識的に分けています。
	2 職員の配置数や専門性は適切であるか	18				なし	児童指導員をはじめ、職員には子育て経験者もおり保護者様のニーズにこたえられるように配置をしています
	3 事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	11	7			なし	建物の構造上バリアフリーができない状況ですが、室内に関しては手すり等を付けるなどの対応をしております
適切な支援の提供	4 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画*1が作成されているか	18				なし	保護者様との面談や担当者会議を経て支援計画書を作成しております。
	5 活動プログラム*2が固定化しないよう工夫されているか	18				公園での活動や製作活動など行けないところやできる事が増えているのがうれしい	子どもたちに寄り添う活動を提供しています。楽しいことをたくさんできればと日々思索しています
	6 放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	5	11	2		交流を行っている報告を受けていない	近隣の公園に手関わることもあるが、交流という形式は取っていないこれから関わる場所や機会を作っていくと思っています
保護者への説明等	7 支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	18				なし	引き続き、丁寧に説明していきます
	8 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	18				活動の様子を写真で送ってもらえるので、どんなことをしていたかとかでも分かりやすいです	これからは子どもたちの様子はその都度おしらせいたします
	9 保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	18				なし	質問や不安などはその都度対応していきます
	10 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	3	8	7		現状のままで問題ないかと思います	保護者様の交流の場の必要性も考慮しながら、検討してまいります
	11 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	15	3			なし	現在苦情等はございませんが、真摯に受け止めていきます
	12 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	18				なし	送迎時時には少しのお時間をいただきお話ができるように心がけています
	13 定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか		4			なし	会報は発行していませんが、日々の活動は保護者様に発信しております
14 個人情報に十分注意しているか	18				なし	職員間で覚悟しを行い常に意識しています	
非常時等の対応	15 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	12	6			なし	職員間でのみ共有しているので、保護者様への説明が不十分ですこれからは細かな説明をしていきます
	16 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	12	6			行っているかお聞きしたいです	近隣の避難場所への避難訓練は行っております実施の際にはお知らせするようにいたします
満足度	17 子どもは通所を楽しみにしているか	18				楽しんでいる様子が あります	
	18 事業所の支援に満足しているか	18				いつもありがとうございます	これからもよりお子様主体の支援に力を入れてまいります

\*1 放課後等デイサービスを利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的な内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のこと。放課後等デイサービス事業所の児童発達支援管理責任者が作成する。

\*2 事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のこと。子どもの障がい特性や課題、平日/休日/長期休暇の別等に応じて柔軟に組み合わせられて実施されることが想定されている。